日本舞台監督協会

会報

＜2024年 秋号＞

一般社団法人 日本舞台監督協会
〒102-0071　東京都千代田区富士見 2-12-16-202
E-mail:bukankyoukai@nifty.com
URL:http://dantai.xsrv.jp/bukankyoukai/

ご挨拶（会報 2024 年秋号発行に際し…）理事長　小川幹雄

会報の発行が大変遅くなりました。昨年から原稿を書いていて下さった会員のみなさまには、たいへん申し訳ありません。特に、今年に入り元旦から能登半島地震が発生し、被災された地域にある劇場等の損壊に心を痛めておられる方々もたくさんおられます。

能登演劇堂の被害状況については地震発生当初から、特に縁の深い無名塾の活動に参画されていた中村信一氏、白石英輔氏の両会員から現地の情報も頂きながら、会報に掲載するべく熟慮いたしておりました。また東日本大震災を体験された仙台の石井忍会員からは、初春にお見舞いの原稿も届いておりました。

ただ如何せん、現地の復旧、復興の様子が長期間にわたり明確に見えてきません。劇場の再建もそうですが、その前に町や村の地域の復旧、復興が様々な要因により遅れに遅れている様子が窺えます。

そんな中で、どのように当協会が発信すべきか、軽々に発言できない状況にあるとの認識が拭えませんでした。しかし、もう既に半年以上が過ぎんとしている時に、現状認識をはかる上でも、見聞きしてきた情報をお伝えしておくべきだと思うに至りました。

今号の会報で、上記の三会員の思いと活動の一端を掲載させて頂きます。

ほかにも俳優座劇場の閉鎖と今後の俳優座舞台美術部（大道具）について、成田明哉会員のご報告も掲載いたしております。

ご挨拶／目次　・・・P.2

◇会員便り

◆3月に想う　石井忍　・・・P.3～4

◆能登半島地震による能登演劇堂の被災と復興について　中村信一/白石英輔

＊シンポジウム報告（2024 年7月5日）　・・・P.5～8

◇舞台上の高所作業について　小川幹雄　・・・P.9

◇事故事例報告

◆「コロナ禍がもたらした新たな盲点」　山形裕久　・・・P.10

◆「事故収集事例からひと言」　田中英世　・・・P.11

◇追憶と期待 「俳優座劇場」閉館へ　成田明哉　・・・P.12～13

◇理事短信　田中英世　・・・P.14～15